



## スポーツの盛んなまち

市では、トップスポーツチームや競技団体等との様々な連携事業を通じて、市民のスポーツへの関心を高め、日常的にスポーツに親しむきっかけづくりを行うことで、市のスポーツ振興に繋がっています。

### FC東京との連携

味の素スタジアムをホームスタジアムとしているFC東京との連携はスポーツの分野にとどまらず、青少年の健全育成、文化、福祉、地域活性化等様々な分野に及びます。



ちょうふピースメッセンジャージュニア



FC東京子どもサッカー体験教室



FC東京初心者向けフットサル教室



飛田駅前クリーン作戦

### NTT東日本バドミントン部との連携



NTT東日本バドミントン部  
地域感謝祭

市内に活動拠点のあるNTT東日本バドミントン部との共催でイベントを開催するなど、連携事業を通して市のスポーツ振興に取り組んでいます。

### 読売巨人軍との連携



現役選手による小学校訪問

プロ野球チームである読売巨人軍と連携協定を締結し、スポーツ振興及び地域活性化の実現に向け、現役選手による小学校訪問など連携した取組を進めています。

### 東芝ブルーパス東京・東京サントリーサンゴリアスとの連携



東芝ブルーパス東京  
サマーフェスティバル



東京サントリーサンゴリアス  
ラグビー体験会

調布市をホストエリアとするラグビークラブの東芝ブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアスと連携協定を締結し、両クラブとスポーツ振興事業などにおいて連携した取組を進めています。

### 日本車いすバスケットボール連盟との連携



車いすバスケットボール連盟  
エキシビジョンマッチinむさぶら

車いすバスケットボールを通じた地域社会における障害者スポーツの発展・振興や、共生社会の実現に寄与することを目的として、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟と令和元年8月に協定を締結し、「車いすバスケットボールChofuエキシビジョンマッチinむさぶら」の開催など連携した取組を実施しています。



国宝 深大寺 釈迦如来像  
(しゃかによらいそう)

深大寺そば

縁起たるま

## 観光・歴史・文化

### 深大寺 じんだいじ

調布市は、都心に近い交通至便な地域でありながら、武蔵野の水と緑に代表される豊かな自然環境に恵まれています。天平5(733)年に開創されたとされる深大寺は、平成29年に国宝指定された釈迦如来像(白鳳仏)などの貴重な寺宝で知られており、門前には名物の深大寺そばやみやげもの店が並んでいます。特に、大晦日やお正月、節分会、日本3大だるま市として知られる縁起たるま市、秋のそばまつりなどの行事は大勢の人で賑わっています。

### 調布花火

その歴史は古く、初めて開催されたのは昭和8年のことです。その後、昭和57年から調布市花火大会としての歴史が始まりました。平成15年から音楽と花火がコラボレートする「ハナビレージョン」が加わり、今では調布名物として親しまれています。ノンストップで打ち上がる約10,000発の花火が、調布の夜空を彩ってきました。



調布花火

## 水木マンガの生まれた街 調布

「ゲゲゲの鬼太郎」で広く知られる調布市名誉市民・水木しげるさんは調布の地で多くの作品を生み出しました。その功績をたたえ、命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」と命名し、様々な催しを行っています。市内には、「鬼太郎ひろば」のほか市庁舎やミニバスでの水木キャラクターを活用したラッピングなど、ゆかりのスポットも数多く整備しています。



「水木マンガの生まれた街 調布」  
についてもっと知る

ゲゲゲ忌2023 ©水木プロ

## 映画のまち調布

調布市は、映画・映像関連企業が約40社集積するなど、「映画のまち」としての歴史を築いてきました。それらの企業や市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、積極的なロケ支援や、世代に合わせた多くの事業を展開しています。



つくる

楽しむ

学ぶ



「映画のまち調布」  
についてもっと知る

「映画のまち調布」応援キャラクター  
ガチャラ ©角川大映スタジオ

## フィルムコミッション

映画・ドラマなどの撮影支援(フィルムコミッション)を積極的に行うことで、ロケを通じた観光振興(ロケツーリズム)を図っています。その一環として、人気ドラマなどのロケ情報に加え、観光・グルメ情報などを掲載したロケ地マップを発行しています。



調布市をメインロケ地として撮影された映画「花束みたいな恋をした」のロケ地マップ(多言語版)